



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月4日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,589	0.0	193	240.6	222	344.0	82	—
26年3月期第2四半期	7,587	12.7	56	—	50	—	△79	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 191百万円 (13.4%) 26年3月期第2四半期 168百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	2.41	—
26年3月期第2四半期	△2.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,227	5,462	36.2
26年3月期	14,727	5,394	34.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,153百万円 26年3月期 5,121百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成27年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	3.8	600	△6.0	600	19.4	400	13.8	11.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料) 4 ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	36,142,529株	26年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,069,811株	26年3月期	2,068,059株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	34,073,618株	26年3月期2Q	34,257,584株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府主導の経済政策や金融緩和策を背景に景気は緩やかな回復基調にあります。その一方で、消費増税による個人消費の回復の遅れや海外景気の下振れ懸念に加えて、円安進行に伴い輸入原材料価格の上昇が続くなど景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

染色加工業界におきましては、国内では、海外生産移転による加工数量の減少に加え、エネルギーコストの上昇・高止まりや、中国における環境規制を背景とした染料価格高騰などで製造コストが上昇し、業界全体で収益の悪化が一段と進んでおり、極めて厳しい事業環境が続いております。一方、当社グループが事業拡大を進める東南アジア地域では、タイでは一時の政治混乱の影響により経済成長が鈍化しておりますが、インドネシアやその他の国、地域では、今後も安定的な経済成長や人口増加、中間所得層の拡大に伴う生活水準の向上などを背景に、各国で衣料・繊維製品の需要拡大が期待されております。

このような状況のもと、当社グループは、強固な利益体質の構築に向けて各事業分野で収益力の更なる強化に努めております。

主力の染色加工事業におきましては、海外では、引き続き内需向けの受注増大に努めると同時に、タイ・インドネシアを起点として他の東南アジア諸国における市場開拓・販路拡大にも重点的に取り組んでおり、より一層の売上拡大に努めました。一方、国内では、委託加工の受注が低迷する中で、テキスタイル事業部を新設し、生地販売の体制強化を図っております。またコスト面では、国内・海外の各生産拠点を横断した原価低減活動を積極的に展開しており、製造コスト上昇に対応するとともに収益性の向上に努めました。

売上拡大を目指す縫製品販売事業では、インドネシア一貫生産体制の活用を一段と進めながら取扱い商品、製造基盤の拡充に努めたほか、保育サービス事業では、託児所数の増加に加え、業務運営の一層の効率化を進めることで、収益増大に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,589百万円（前年同期比0.0%増、2百万円増）と前年同期と比べ横ばいを維持しました。これは厳しい受注環境の中、国内染色加工事業、タイ子会社、縫製品販売事業で減収となりましたが、インドネシア子会社において前期に実施した設備増設効果により順調に売上を伸ばしたことによりです。

一方、利益面は、営業利益193百万円（前年同期比240.6%増、137百万円増）、経常利益222百万円（前年同期比344.0%増、172百万円増）、四半期純利益82百万円（前年同期は四半期純損失79百万円）と各利益段階で大幅な増益となり、第2四半期連結累計期間としては7期ぶりに全ての利益段階で黒字となりました。これはインドネシア子会社の増収増益効果に加え、国内染色加工事業と縫製品販売事業の収益力改善が貢献したことによりです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①染色加工事業

染色加工事業は、売上高5,747百万円（前年同期比1.6%減、93百万円減）とテキスタイル販売部門の苦戦により減収となりましたが、利益面ではインドネシア子会社の増益効果及び国内染色加工事業の収益改善により営業利益114百万円（前年同期比127.6%増、64百万円増）と増益になりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

## （加工料部門）

加工料部門の売上高は4,409百万円（前年同期比2.5%増、107百万円増）となり、国内の染色加工事業及びタイ子会社は減収となりましたが、インドネシア子会社が順調に売上を伸ばしたことにより増収となりました。

国内では、編物加工分野で秋冬物の受注強化や顧客と取り組みを深めたことが奏功し、無地染・プリント加工ともに好調に売上を伸ばしました。しかしながら、織物加工分野では、定番素材やユニフォーム関連、産業資材向けの受注強化により売上確保に努めましたが、繊維製品の海外生産移転の影響を受け、無地染・プリント加工ともに受注数量を落とし減収となりました。この結果、国内染色加工事業全体でも減収となっております。その一方、コスト面では、電気料金値上げなどエネルギーコストの大幅な上昇や、染料、加工薬剤などの原材料仕入価格が高騰するなど、コスト上昇圧力が続きましたが、前期までに実施した生産拠点集約効果に加えて、各生産現場で積極的にコストダウン活動を進めた成果により、国内染色加工事業の収益性は大幅に改善しております。

海外では、インドネシア子会社は前期に実施した無地染加工設備増設やプリント加工設備更新による生産能力増強が当期はフルに寄与し旺盛な内需を取り込んだ結果、増収となり大幅な増益を確保しております。一方、タイ子会社は政治的混乱の影響を受けタイ国内向けを中心に受注量を落とし、収益確保のため各種のコスト削減に努めたものの減収減益となりました。

## （テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門の売上高は1,338百万円（前年同期比13.0%減、200百万円減）と減収になりました。インドネシア子会社では欧州向け輸出を伸ばすなど現地通貨ベースでは増収となりましたが、現地通貨安進行により円換算額では減収となりました。また日本国内では、新規顧客の開拓を積極的に進めるなど拡販に努めましたが、市場の冷え込みもあり販売を伸ばせず減収となっております。

## ②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、売上高1,020百万円（前年同期比4.6%減、49百万円減）、営業利益22百万円（前年同期は営業損失40百万円）となりました。

同事業は、インドネシア一貫生産体制の強化に加えて、他の東南アジア諸国での縫製・生産ルートの開拓・確立にも取り組み婦人アウター分野など取り扱う素材や商品の幅を広げながら販売量の拡大に努めました。当第2四半期連結累計期間は生産・納期管理の徹底を進めたこともあり増収となりませんでした。物流費用を大幅に圧縮するなどコスト削減に努めた結果、収益性が大幅に改善し黒字回復をしております。

## ③保育サービス事業

保育サービス事業は、売上高811百万円（前年同期比4.8%増、37百万円増）、営業損失5百万円（前年同期は営業利益17百万円）となりました。

同事業は、積極的な営業活動により企業や病院等の事業所内託児所数を順調に拡大していることに加え、前期下半期に新たに1か所開設した保育園が売上増に貢献し増収となりました。しかしながら、コスト面では保育人材を安定的に確保するために人件費が増加傾向にあり、効率的な業務運営により経費削減に努めたものの、当該期間におきましては赤字となっております。

## ④倉庫事業

倉庫事業は、売上高141百万円（前年同期比2.7%増、3百万円増）、営業利益7百万円（前年同期比95.8%増、3百万円増）となりました。

同事業は、国内染色加工事業の商量減少が続く中で、荷役取扱数量の確保に努めると同時に人員配置の適正化など効率的な経営にも取り組んだ結果、増収増益となりました。

## ⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は115百万円（前年同期比30.9%増、27百万円増）、営業利益は55百万円（前年同期比125.0%増、30百万円増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、14,227百万円（前連結会計年度末比3.4%減、500百万円減）となりました。これは主に投資有価証券の増加146百万円、受取手形及び売掛金の減少615百万円、商品及び製品の減少29百万円等によるものです。

負債は、8,764百万円（前連結会計年度末比6.1%減、568百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少319百万円、短期借入金の減少268百万円等によるものです。

純資産は、5,462百万円（前連結会計年度末比1.3%増、68百万円増）となりました。これは主に四半期純利益による増加82百万円、配当金の支払による減少102百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加66百万円、為替換算調整勘定の減少17百万円、少数株主持分の増加35百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績結果に加え、第3四半期以降の当社グループを取巻く経営環境の見通しを勘案し、通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成27年3月期通期 連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	680	600	400	11.69
今回発表予想(B)	16,000	600	600	400	11.69
増減額(B-A)	0	△80	0	0	—
増減率	0.0%	△11.8%	0.0%	0.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	15,419	638	502	351	10.27

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っております。これに伴う当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債及び利益剰余金、並びに当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。また、セグメント情報に与える影響もありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,603,753	1,669,844
受取手形及び売掛金	3,956,314	3,340,428
商品及び製品	368,311	338,819
仕掛品	357,861	343,044
原材料及び貯蔵品	412,082	410,655
繰延税金資産	59,174	64,079
その他	242,212	232,727
貸倒引当金	△33,736	△39,370
流動資産合計	6,965,973	6,360,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,446,978	1,418,282
機械装置及び運搬具(純額)	1,783,700	1,788,837
土地	1,825,801	1,786,424
建設仮勘定	21,414	57,899
その他(純額)	411,340	425,693
有形固定資産合計	5,489,235	5,477,136
無形固定資産		
その他	45,173	44,934
無形固定資産合計	45,173	44,934
投資その他の資産		
投資有価証券	1,798,258	1,944,842
繰延税金資産	53,010	44,206
その他	387,677	367,890
貸倒引当金	△11,824	△11,824
投資その他の資産合計	2,227,121	2,345,113
固定資産合計	7,761,530	7,867,184
資産合計	14,727,504	14,227,414

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,215,612	1,896,404
短期借入金	2,089,136	1,820,906
未払法人税等	46,511	40,000
賞与引当金	98,880	135,776
役員賞与引当金	3,700	-
その他	928,857	1,004,893
流動負債合計	5,382,698	4,897,980
固定負債		
長期借入金	1,219,619	1,219,472
役員退職慰労引当金	11,465	12,288
退職給付に係る負債	1,617,100	1,539,052
資産除去債務	38,399	38,834
その他	1,063,802	1,056,867
固定負債合計	3,950,387	3,866,515
負債合計	9,333,086	8,764,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,151	1,400,151
利益剰余金	560,857	540,639
自己株式	△392,852	△393,063
株主資本合計	5,868,156	5,847,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,343	304,601
為替換算調整勘定	△805,336	△823,092
退職給付に係る調整累計額	△179,897	△175,453
その他の包括利益累計額合計	△746,889	△693,944
少数株主持分	273,151	309,135
純資産合計	5,394,417	5,462,918
負債純資産合計	14,727,504	14,227,414



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,587,701	7,589,884
売上原価	6,718,953	6,606,359
売上総利益	868,747	983,525
販売費及び一般管理費	811,806	789,573
営業利益	56,941	193,952
営業外収益		
受取利息	1,388	2,162
受取配当金	24,894	20,534
為替差益	—	6,688
有価証券評価益	—	14,634
雑収入	8,819	17,832
営業外収益合計	35,102	61,852
営業外費用		
支払利息	19,085	20,991
為替差損	7,116	—
有価証券評価損	980	—
雑支出	14,690	12,072
営業外費用合計	41,872	33,064
経常利益	50,170	222,739
特別損失		
減損損失	—	36,979
事業所閉鎖損失	31,313	—
その他	1,720	—
特別損失合計	33,033	36,979
税金等調整前四半期純利益	17,137	185,760
法人税、住民税及び事業税	51,481	51,406
法人税等調整額	1,976	△4,107
法人税等合計	53,457	47,299
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,320	138,460
少数株主利益	43,275	56,455
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△79,595	82,005

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△36,320	138,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99,071	66,257
為替換算調整勘定	106,076	△17,854
退職給付に係る調整額	—	4,613
その他の包括利益合計	205,147	53,016
四半期包括利益	168,827	191,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,057	136,768
少数株主に係る四半期包括利益	70,769	54,708

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,137	185,760
減価償却費	184,109	203,091
事業所閉鎖損失	31,313	—
減損損失	—	36,979
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△106,623	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△76,229
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,187	5,640
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,166	36,896
受取利息及び受取配当金	△26,283	△22,697
支払利息	19,085	20,991
為替差損益 (△は益)	8,081	△15,628
売上債権の増減額 (△は増加)	278,597	606,329
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,895	39,004
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,930	△309,457
未払費用の増減額 (△は減少)	△67,362	△9,647
その他	△187,582	62,118
小計	131,000	763,151
利息及び配当金の受取額	26,283	22,697
利息の支払額	△18,709	△21,488
法人税等の支払額	△69,814	△71,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,759	693,026
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△537,038	△121,684
有形固定資産の売却による収入	33,390	—
投資有価証券の取得による支出	—	△29,462
その他	4,735	7,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△498,912	△143,240
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△264,194	△284,327
長期借入れによる収入	750,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△363,577	△271,261
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
セール・アンド・リースバックによる収入	483,354	—
リース債務の返済による支出	—	△71,018
配当金の支払額	△68,517	△102,223
少数株主への配当金の支払額	△20,357	△18,723
その他	△2,495	102
財務活動によるキャッシュ・フロー	484,211	△477,452
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,076	△3,842
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,134	68,491
現金及び現金同等物の期首残高	1,449,159	1,507,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,521,293	1,576,244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,840,521	905,059	774,633	1,104	7,521,318	66,383	7,587,701	—	7,587,701
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	424	164,928	—	136,471	301,824	21,988	323,813	△323,813	—
計	5,840,946	1,069,987	774,633	137,575	7,823,143	88,371	7,911,515	△323,813	7,587,701
セグメント利益又は 損失(△)	50,201	△40,522	17,877	3,628	31,184	24,526	55,711	1,230	56,941

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,230千円には、セグメント間取引消去1,427千円、のれんの償却額△197千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,746,422	930,789	811,635	2,695	7,491,543	98,341	7,589,884	—	7,589,884
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,338	90,107	—	138,570	230,016	17,332	247,349	△247,349	—
計	5,747,761	1,020,897	811,635	141,265	7,721,559	115,674	7,837,234	△247,349	7,589,884
セグメント利益又は 損失(△)	114,263	22,079	△5,912	7,104	137,536	55,186	192,722	1,230	193,952

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,230千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントに含まれる賃貸等不動産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことにより減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては36,979千円であります。